

経営者・管理者向け

参加費無料

先着順

住宅履歴情報は売上に直結する

地元工務店の目指す方向性を紐解く 90分

住宅履歴情報の蓄積は工務店にとって、大きなチャンスとなる。

住宅管理時代の到来

国は新築住宅を大量に作る時代から既存住宅を大切にしようとする時代への転換を始めました。日本の経済状況や資源の大切さを重点におき「ストック型社会に向けての実現」を掲げた政府は、住宅履歴情報整備を早期に作り上げる方針です。建設業界だけではなく、不動産業界でも住宅履歴情報の蓄積ができていない住宅には資産価値（住宅評価）に差をつけるようになってきています。作る時代から管理する時代が変わった今、地元工務店の力が大きく期待されています。



一般財団法人 日本住宅維持管理協会
代表理事 田中 肇

建設業は

変動収入だけではない。固定収入の時代へ。

広告宣伝費を使いまくる物売り時代からの脱皮をしないと、これから日本が進もうとしている経済の中では、生き残れない建設業界。経常利益を残す会社が世の中で「生かされる会社」となります。生き抜く姿勢から生かされる姿勢への転換が求められています。

変動収入ばかりを追いかけてきた業界は終わりを告げ、変動収入にプラスされる固定収入を得る時代が到来しようとしています。



セミナー風景

同時開催

情報サービス機関の役割

説明：一般財団法人日本住宅維持管理協会

住宅履歴情報を蓄積することにより、住宅は個人資産と同時に、世代を超えて継承されるべき社会資産となる。住宅の質を維持し、豊かな住生活を維持するためには、良好に維持管理された住宅と、その住宅履歴情報をしっかりと次の所有者へ引き継ぎ、住み継がれるようにすることが必要です。情報サービス機関は住宅履歴情報の蓄積をサポートする役割を担います。

セミナー参加の方はファックスでご返信ください

セミナー申込み

FAX 0942-44-2331

開催日

H22/7/14 13:30-15:00

場所

福岡市博多区東那珂一丁目11番11号
株式会社 サンゲツ
TEL092-441-5181 FAX092-441-5191

会社名		参加人数	名
住所			
電話番号		FAX	

今後、FAXが不要の方は にチェックを入れて返信ください

主催：一般財団法人 日本住宅維持管理協会
<http://www.house-kanri.or.jp>

協力企業：株式会社 サンゲツ